

## 地域公共交通計画策定に向けたアンケート実施方針の検討

## 1. アンケート調査の基本設計

## ①アンケート実施対象者

- ・町内在住 15 歳以上の町民の方を対象に無作為に抽出した 1,500 名を対象とする

## ②配布・回収方法

- ・郵送配布・回収

## ③アンケート設計項目

- ・属性調査（年齢、居住地区（自治会単位）、世帯構成、職業、居住年数）
- ・自身及び同居する家族の運転免許の有無、自家用車の所有状況
- ・居住地における公共交通の利用環境
- ・日常の移動の目的、交通手段、行き先
- ・日常の移動のしやすさ（利用交通手段別 4 段階評価）と不便さの理由
- ・鉄道の利用状況と鉄道を利用しない主な理由
- ・新松田駅北口駅前広場の整備で特に必要だと思うこと
- ・路線バスの利用状況と路線バスを利用しない主な理由
- ・路線バスの運行サービスについての満足度とバスを利用しやすくするために必要なこと
- ・タクシーの利用状況とタクシーを利用しない主な理由
- ・自転車の利用状況と自転車を利用又は利用しない主な理由
- ・5 年後の自家用車の利用についての意向
- ・地域の公共交通を将来充実させるために必要と思うこと
- ・新しいバスの運行システムについての考え方

## 2. 今回、アンケート票の配布を地域により比重配分を加える考え方について

- アンケート対象者 1,500 名を無作為抽出した場合、各地域の人口に比例した配分となりますが、現状把握されている地域公共交通の課題としては、寄地域において地域公共交通をどのように確保していくかが大きな課題となっています。
- これは昨年度実施した新モビリティサービスに関するアンケート調査においても、公共交通に関する不満は寄地域において高かったことから検証されます。
- このため、将来の地域公共交通を考えるうえで一番の問題となる寄地域の住民意向をより多く把握するため、アンケート票配布の地域配分についても全町一律平均とするのではなく、現状把握されている公共交通の利便性の低い地域により多くアンケート票を配布したいと考えています。

(参考例：隣接する大井町では、地域公共交通計画策定時のアンケート調査において、交通不便地区と想定される地域には全戸配布を行っています。)

表 昨年度実施した新モビリティサービスに関するアンケート調査の配布数と回収結果

地域	世帯数	配布票数	回収票数	無回答 (未回答)	有効票数	回収率
寄	703	159	83	76	83	52%
寄(湯の沢)	154	35	23	12	23	66%
神山	391	88	42	46	42	48%
松田惣領	2,625	594	267	327	267	45%
松田庶子	993	224	146	78	146	65%
合計	4,866	1,100	561	539	561	51%

### 3. 自治会単位の公共交通に関する現状の認識と意見・要望等のヒアリング調査の実施について

アンケート調査とは別に、各自治会へそれぞれの自治会内で起きている様々な交通に関する問題や、将来の公共交通の維持に関する不安や要望などを、ヒアリングアンケート調査により把握し、アンケート調査と合わせて地域公共交通計画策定の資料としたいと考えています。

